

■石田礼助 実業家。三井物産がアメリカ市場に地位を築く役割、70になって国鉄総裁に就任、国会でも愛された。

いしだれいすけ
帝国大学始・1886＝ 静岡県の西伊豆松崎で旧家の分家だった網元の次男に生まれた。

帝国憲法発布1889＝ 3歳：

江原素六と親しく進歩的な父から、厳しく躰られ、

父が事業に行き詰まるとともに、中風を病むと、気丈な母が家を支えるうち、

日清戦争始・1894＝ 8歳：

日清戦争終・1895＝ 9歳：

本家の跡が絶えたため、本家に出されるもなじまずに戻り、

江原の創立した麻布中学校に入学、1年半ほど江原家に下宿、

開校以来といわれるほど成績優秀であったが、家を継ぐため水産講習所へ出されそうになり、

悩んだ末、親の反対を押し切って、

日露戦争始・1904＝18歳：

日露戦争終・1905＝19歳：

1年繰り上げで東京高商(一橋大)に入学。剣道やボートに熱中する一方、

韓国反日暴動1907＝21歳：

卒業し、志望する{三井物産}に入社して大連支店へ赴任。

以後、退社するまでの大半を海外勤務、

大連で下積みの仕事を続け、この間に結婚。

明治天皇没・1912＝26歳：

大正政変・1913＝27歳：

第一次大戦始1914＝28歳：

民本主義・1916＝30歳：

ようやく、シアトル支店長に起用され、渡米。同船した石坂泰三と生涯の親友となる。

大戦景気の読みが的中して、巨大な利益を上げ、社員数を10倍にするなど、頭角を現したが、

本格政党内閣1918＝32歳：

ベルサイユ条約・1919＝33歳：

ニューヨーク支店が出した損失を被って、帰朝を命じられ、

閑職について、退社することも考えたが、

原敬首相暗殺1921＝35歳：

実情が知られて、再び重用され、ボンベイ支店長へ出、

水平社結成・1922＝36歳：

カルカッタ支店長専任となり、

関東大震災・1923＝37歳：

野生動物を見に出かけた折、車が崖から転落して間一髪助かったことから、宗教心を抱くようになる。

治安維持法・1925＝39歳：

大連支店長へ栄転。

金融恐慌・1927＝41歳：

相場勘と度胸で大豆の商いを伸ばし、

{三井物産}は後発にも拘らず、満州産大豆の60%まで扱うようになり、

海軍軍縮条約1930＝44歳：

その腕を買われて、ニューヨーク支店長へ転出。業績を上げて、

満州事変・1931＝45歳：

五一五事件・1932＝46歳：

取締役となり、

この間、母が死去。

帝人疑獄事件1934＝48歳：

常務に就任した。

アメリカ人の間でも、優れたボス・経営者として認知されたが、

二二六事件・1936＝50歳：

本社勤務となって帰国、長かった海外生活が終わる。途中シアトルで市を挙げての歓迎を受けた。

日中戦争始・1937＝51歳：

この間、軍部の圧力が次第に高まり、

第二次大戦始1939＝53歳：

代表取締役となるが、

大政翼賛会・1940＝54歳：

日米開戦・1941＝55歳：

*開戦反対を直言して、解職となり、退社した。

.....1942＝56歳：

藤原銀次郎に要請されて産業設備公団顧問に就任すると、給与を一切受け取らずに精勤、

創価学会検挙1943＝57歳：

続いて持ち込まれた交易営団総裁も無給という条件で就任。

敗戦.....1945＝59歳：

この間、{三井物産}は解体され、自らも一切の公職に就かずにごすうち、

新憲法公布・1946＝60歳：

任満了を理由に退任。財産税を納めるため、青山の家を手放して国府津に住み、農園を始める。

三大事件.....1949＝63歳：

朝鮮戦争始・1950＝64歳：

独立回復.....1951＝65歳：

国連加盟.....1956＝70歳：

同じ国府津の住人であった*十河信二に頼まれて、初代の国鉄監査委員長に就任、

手当てを受け取らず、

インスタマン・1958＝72歳：

美智子妃.....1959＝73歳：

養子にしていた甥に妻を迎える。この年、{三井物産}としての大合同も完了。

安保闘争.....1960＝74歳：

孫が誕生し、溺愛するようになる。

TV宇宙中継始1963＝77歳：

*石坂泰三に頼まれて国鉄総裁に就任、直後に起こった<鶴見事故>に真摯に対応、辞表を書くも慰留され、

東京マヒック1964＝78歳：

自らは給与を返済する一方、安全のためにと国鉄予算を増やすべく、国会で堂々と答弁、田中角栄が支持したのをはじめ、野党議員からも愛されるようになる。十河信二が推進してきた東海道新幹線が完成する一方、自らの推進してきた新型の青函連絡船{八甲田丸}も就航。

大学紛争始・1965＝79歳：

続いて、{大雪丸}{摩周丸}{羊蹄丸}、

いざなぎ景気1966＝80歳：

{十和田丸}が就航。この年、荒船清十郎のごり押しで高崎線深谷駅に急行停車することになったのを、"武士の情け"と発言して紛糾、辞任も考える。

美濃部都知事1967＝81歳：

国鉄職員の乗客への接し方をはじめ、顔パス・優待パスの廃止など、モラル向上に尽力する一方、1・2等車に替わるグリーン車の導入を図るなど、その近代化に努めて、

全共闘闘争.....1969＝83歳：

*内外から惜しまれて辞任。その後もボケないためにと株に手を出して大損するなど人生を楽しんで、

成田衝突.....1978＝92歳：

没した。

のち城山三郎が「粗にして野だが卑ではない」で、そのユニークな生き方を描いた。

城山三郎「粗にして野だが卑ではない」